



■進路講話 (6月24日)

卒業生による体験談として進路講話が開催されました。今年度は平成30年度卒業生です。講演者は、藤井美聖さん(厚真町役場)、佐藤諄也さん(トヨタ自動車北海道)、亀尾優希さん(株式会社シンクプロジェクト)、新日本海フエリーから職員3人で、業界で活躍されている方々から体験談を聞き、働くことの苦労や喜びを学びました。

■田舎まつりパレード (6月24日)

厚真町最大のイベントである第51回あつま田舎まつりの「田舎まつり音頭パレード」に全校で参加しました。そろいの浴衣姿で練習成果を発揮し、前回に続き「町長賞」を頂きました。

■キャリア教育講演会 (6月27日)

将来の職業選択に向けて、「コミュニケーション力などを醸成し、「これからの時代で生きる力」を身につける一環として、北海道文教大

学特別学長補佐の木村俊昭様による講演会を実施しました。教職員が、「新しい研修制度」の下で学校における日常の教育活動に直接生かせる資質や能力を高める機会となりました。

▼交通安全教室 (6月28日)

苫小牧警察署交通一課企画規制係長の近藤寛由様による講話を開き、交通事故の恐ろしさを知り、誰もが加害者・被害者になり得ることを学びました。最後に交通安全委員長の高橋鈴音(3年)さんが、「交通安全」を宣言しました。

▼e-ネット安心講座 (6月30日)

e-ネットキャラバンで、IC T支援員でもある長野修二さんのオンライン講座が開かれました。インターネットの安心・安全な利用のために、必要なルールとマナーを学ぶとともに、有害サイト・詐欺行為等から身を守るスキルを習得しました。



あつま田舎まつりパレード

よりみち通信



「よりみち学舎」は厚真高校と地域が連携しながら放課後を利用して生徒が自ら目標を発見し挑戦する公営塾です。

ただいまロケット開発中

よりみち学舎は今、ペットボトルロケットを開発中です。スタッフの山中を中心に生徒を巻き込んで始めました。掲げた目標はなんと「浜厚真」です。ペットボトルロケットが、本郷の町スポーツセンターから厚真市街地の上空などを縦断して浜厚真まで飛んで行く。笑ってしまうほど夢のような光景を想像しながら、私も生徒もワクワクしています。

ペットボトルロケットは、空気入れで限界まで中に空気を注入して水を圧縮し、水圧を利用して噴射させます。ロケットに翼を付けたり先端を重くするなど、細かな調整や工夫で飛距離は大きく変わります。

実は、このプロジェクトも最初は生徒2人だけで始まり、飛距離もわずか2mでした。発射時の水でびしょぬれになりながら、わずか数歩先にポトンと落ちるのを笑っていました。改良を重ね、今や25m以上も飛ぶようになりました。

飛距離が伸びるにつれて、生徒も増えていきました。野球場の横でロケットを発射していると、近所の方も興味を持って訪れます。厚高生と地域住民との境界線が、自然に溶けて混ざり合う姿も最近では珍しくありません。

「生徒と地域の方の交流や対話を増やしたい」と願って立ち上げた公営塾。ペットボトルロケットがきっかけで広がる交流の輪は、私の喜びです。浜厚真をめざすロケットのように、町中に交流の輪を広げたいと思っています。

教育魅力化支援員 加藤千昇



緊張の発射後はびしょぬれで笑顔があふれる